

第1回 宗像市スポーツ推進審議会議事録（要旨）

日 時	平成28年7月21日（木） 19:00～20:30	
会 場	宗像市役所第2委員会室	
出席者	委 員	市丸 梅田 江崎 釜瀬 北濱 末永 橋本 吉田
	事務局	磯部 古沢 高崎 濱本 築地 末弘 森田
欠席者	委 員	

1. 会長あいさつ（市丸会長）

残念ながら総合スポーツセンターの建設は延期となったが、この会は引き続き進捗管理を行う機関として継続し、委員の皆さんにはご尽力いただきたい。

2. 自己紹介（事務局）

3. 審議会の運営について

（1）議事録の作成について

- ・要点筆記にて行う

（2）審議会の公開・傍聴について

- ・公開・傍聴を認める

4. 今年度の主な新規事業について（資料1）

○むなかたレガシープランの図において、ラグビーワールドカップが「地域経済の活性化」及び「共生社会の推進」に寄与しないというような図の構成になっているのはなぜか。また、パラリンピックが「市知名度の向上」及び「国際理解・交流の促進・グローバル人材の育成」につながらないとされているのはなぜか。

→ラグビーのキャンプというのは数日で帰ることが多いため、市としては経済活性化及び共生社会の推進という効果は期待していない。また、パラリンピックについては事前キャンプなどを行わない競技団体も多く、知名度の向上や国際交流には繋げにくいという解釈をしている。しかし、オリンピック、パラリンピックは同様の効果が期待できるため、大規模国際大会キャンプ地誘致推進本部にて協議を行い、検討を進めていきたい。

○スポーツサポートセンターは、市の体育協会に全てを任せるのか。

→まずはハード面の整備として市民体育館の改築を進めていく。同時にソフト面の充実のための検討を行いながら人の配置なども含めて進めていき、スポーツサポートセンターの運用方法等を検討、整備していく。

市民体育館の改築については今年度（H28年度）に設計を完了しH29年度に着工、センターとしてはH30年度に運用を開始する予定である。

5. 事業の進捗状況及び今後の事業計画について（資料2）

○スポーツサポートセンター機能の整備を検討するに至った経緯

→東京五輪と東日本大震災等の影響で建築単価が高騰し、それにより総合スポーツセンター（仮称）の建設を将来へ先送りするという判断に至った。市のアセットマネジメント計画に基づき、現行の市内3体育館を使用する方針である。総合スポーツセンター（仮称）に付与する予定だったサポートセンター機能を、既存市民体育館を中核拠点施設として暫定的に位置づけ、必要最低限の施設整備を実施予定である。

○市内の3体育館は統合するのが良いのか、それともそれぞれの地区に近い位置に配置すべきなのか。

→基本的には今ある機能をベースに集約し、地域については小中学校の開放にて対応する。特に児童・生徒数が減少している現状を踏まえると、適切な安全管理が保障されているという前提で学校開放の拡大も視野に入れて検討を行う。

スポーツに本格的に取り組む人からすれば、市内3体育館の機能を一つに集約したものがあれば市内の大会を一括して行うことができたり、全国レベルの大会招致等も可能となったり恩恵もある。

指導者をはじめとするスポーツ関係者にとって総合スポーツセンター（仮称）は待ち望まれていた施設であった。

○老朽化した学校の体育館等の修繕はしないのか

→学校施設については借用しているにすぎないため、学校管理課と協議する必要がある。市民体育館とB&G体育館についてはトイレ改修済みであり、勤労者体育センターについても改修を検討している。

○事業の進捗について、年1回の会議だけでは情報が足りない。委員に向けてもっと頻繁にどのような事業を行っているのかを発信してほしい。そうすることでより連携できるのではないかと。また、市民に対する見せ方も工夫する必要があると思う。

→審議会の委員に対してはこまめに情報を発信していく（毎月メールで連絡等）。見せ方、PRに関してはHPや広報紙等をさらに活用するなどの方法を考えていきたい。当市は近隣の市町では取り組んでいない魅力的な活動に数多く取り組んでいるので、より市民の方々に向けて情報発信をしていきたい。

○ふれあいの森の再整備計画について（駐車場の拡張、グラウンド状態の悪化、グラウンドの日除け等）の進捗はどうなっているのか

→維持管理課と協議中で、屋外スポーツ施設の拠点となる施設であるため、文化スポーツ課が管理することも視野に入れている。また、駐車場の拡張やグラウンドへの日除け設置、グラウンドの芝生化についても、人工芝か天然芝か、本当に実施可能かということについて今後の維持管理方法なども含めて引き続き協議していく方針である。

○この時期に審議会を実施する意味はあるのか。

→27年度の事業報告、28年度の予定を報告する中で委員からの意見を聞き、それを踏まえて29年度の実施計画を検討、作成するためにこの時期に実施している。

配布資料

1. 会議次第
2. 主な新規事業一覧表
3. 今年度の主な新規事業について（資料1）
4. 事業の進捗状況及び今後の事業計画について（資料2）